資料３

第５期富山県食育推進計画（R９～R13）の骨子（案）について

基本目標（案）：
こどもから大人まで。県民のウェルビーイングを支える食育の推進

☆県計画改定の論点☆
国の第５次食育推進基本計画及び改正食育基本法で新たに追加・重点事項とされた施策を盛り込む
＜新たな重点事項＞
1　学校等での食や農に関する学びの充実
2　大人の食育の推進
3　国民の食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大

旧・推進施策	新・推進施策	具体的な取り組みの方向性	目標指標	R７（現状）	R13（５期目標）
Ⅰ　多様なライフスタイルに対応した食育県民運動の展開 1　食育推進運動の展開と推進体制の充実	**Ⅰ 多様なライフスタイルに対応した食育県民運動の展開** **1 食育県民運動の展開 推進体制の充実**	**○食育推進体制の充実** 県食育推進会議を中心とした関係機関の連携による県民運動としての食育の推進　など **○デジタル技術を活用した食育推進運動の展開** デジタル技術やオンラインを活用した食育実践の啓発　など **○SDGｓの理念を踏まえた食育の推進** SDGｓ未来都市として、持続可能な開発目標の達成に資する施策を推進	○「食育」に関心がある県民（成人）の割合 ○カロリーやバランスを考えて食事をする県民（成人）の割合 ○「富山型食生活」を実践している県民（成人） ・ご飯を１日に１回以上食べる ・野菜を１日に 350g（小鉢５皿程度）取る ・魚介類を１日に１回以上取る	93.0% ※52.5% 58.6% ※31.1% 92.9%(R6) 30.0%(R6) 53.5%(R6)	
Ⅱ　あらゆる場面での心身の健康を支える食育の推進 2　家庭における食育の推進 3　学校・保育所等における食育の推進 4　地域・職場における食育の推進	**Ⅱあらゆる場面での心身の健康を支える食育の推進** **2 家庭における食育の推進** **3　学校・保育所等における食育の推進** **4　地域・職場における食育の推進**	**○望ましい食習慣の形成に向けた普及啓発** 「早寝早起き朝ごはん」運動等による、子どもの望ましい食習慣の形成の推進　など **○家庭で楽しい食生活の実践と支援** 「とやま家族ふれあいウィーク」等での家族そろっての食事の大切さの啓発 など **○多様なライフスタイルに対応した取り組みやすい食育の推進** 共働き世帯、高齢者世帯など多様なライフスタイルに対応した調理や外食・中食の選び方の普及・実践　など **○学校給食等を通じた食育の推進** 健全な食習慣の実現に向けた取組みや栄養教諭による食に関する指導の充実、「農林漁業教育」の推進　など **○家庭・地域等と連携した食育の推進** 食育リーダー等による保護者への食育活動の充実　など **○大人の食育の推進（健全な食生活や生活習慣の確立に向けた食育の推進）** 一人暮らしの大学生や社会人等を対象とする食生活改善への啓発や調理教室等の充実　など **○共食の推進** こども食堂等地域での様々な共食の場づくりの活動の支援　など **○災害に備えた食育の推進** 災害時の食の備えについての普及啓発　など **○健康寿命延伸に向けた食育の推進** 減塩や野菜摂取促進、フレイル予防、よく噛んで味わって食べる大切さの啓発　など	○朝食を欠食する県民の割合 （小学校５年生） （中学校２年生） （20 歳代） （30 歳代） ○家族で朝食又は夕食を取る県民（成人）の割合 ○食塩の１日当たり摂取量 （男性） （女性） ○肥満者（20～60 歳代男性）　の割合 ○低体重者　（20～30 歳代女性）の割合 ○低栄養傾向（BMI２０以下）の高齢者の割合	 1.6% 3.5% 8.7%(R6) 28.2%(R6) 83.7% ※89.0% 10.9g(R6) 9.1g(R6) 34.1%(R6) 11.8%(R6) 12.4%(R6)	
Ⅲ 持続可能な食を支える食育の推進 5　地産地消や食の循環、環境に配慮した食育の推進 6　魅力ある食文化の継承・創造 7　食の安全確保の推進	**Ⅲ 持続可能な食を支える食育の推進** **5　地産地消や食の循環、環境に配慮した食育の推進** **6　魅力ある食文化の継承・食の体験の推進** **7　食の安全確保の推進** **8　持続可能な食を支える消費行動の促進**	**○地産地消を通じた農林水産業への理解促進** 直売所・インショップ等への支援、アプリを活用したキャンペーンや情報発信　など **○学校給食を通じた県産食材と食文化への理解増進** 地場食材活用拡大による地域の食への理解促進　など **○豊かな農林水産資源を生かした食の体験の推進** 農林漁業体験活動、地場産食材の調理活動の充実　など **○食品ロス等の発生を減らす食生活の推進** 食材の使い切り、「3015 運動」による啓発、「フードドライブ」等の実践　など **○富山の伝統的な食文化の伝承** 食の匠等による地域や学校で食文化を伝える取組みの推進　など **○新たな食文化の創造** 県産食材の利活用による家庭で楽しめる郷土料理の普及 テロワールベジ（本県の風土や文化など土地の個性を生かした野菜）など、富山らしさを活かした県産園芸作物のブランド化　など **○安全な農林水産物等の供給** 適正な農業生産活動（GAP）や HACCP 手法による衛生管理の推進　など **○食に関する情報の理解促進** 食の安全に関する情報提供の充実、適正な食品表示の推進　など **○合理的な価格形成に向けた理解醸成** 農業の役割や重要性の理解を深める生産者と消費者の相互理解の促進　など	◎産地を意識して購入する人の割合 ◎直売所・インショップ販売額 ☆県産食材提供協力店舗数（県内） ☆「とやま和牛酒粕育ち」の出荷頭数 ◎地産地消アプリ「食ベトクとやま」ユーザー数 ◎学校給食における県産食材の活用率 ◎農林漁業体験者数 ○食品ロス削減のための取組みを行っている県民の割合 ◎食育リーダー派遣（とやま食の匠等）の参加者数 ㊕富山県の郷土料理や伝統料理を月１回以上食べる人の割合 ◎「富山県地域特産品認証（E マーク）商品」販売額 ○食品表示が適正な店舗の割合 ㊕コスト上昇分を価格転嫁しても県産品の購入頻度を変えない県民の割合	56.9% ※59.5% 43 億円 1,682 店舗 518 頭数 12,174 人 22.7% 89,797 人(R6) 90.5%(R6) 2,940 人 41.1% 10 億円(R5) 98.2% 14.0%	

※は R7 アンケートモニター調査の値
○：第４期食育推進計画から引継ぐ指標
☆：第３期地産地消戦略から引継ぐ指標
◎：両計画から引継ぐ指標